

大腸癌研究会プロジェクト
『pT1 大腸癌のリンパ節転移の国際共同研究』

- 研究 1 (日米共同) pT1 大腸癌における「内視鏡摘除後の追加治療の適応基準 (大腸癌治療ガイドライン)」の検証とリンパ節転移リスク算出 tool の作成
研究 2 (日英共同) pT1 大腸癌のリンパ節転移のリスク因子に関する研究 (Formula One Study)

第 12 回会議議事録

2023 年 1 月 26 日

浜松町コンベンションホール 「メインホール」 + web

■出席者 (50 音順、敬称略)

- 委員長 防衛医科大学校外科：上野 秀樹
- プロジェクトアドバイザー 兼国際共同研究の研究責任者：杉原 健一
- 委員 (50 音順)：秋元直彦、味岡洋一、池松弘朗、石黒めぐみ、石原聡一郎 (代理：佐々木和人)、市川一仁、浦岡俊夫、大内彬弘 (欠席)、大沼忍、岡志郎、奥山隆 (欠席)、勝又健次 (欠席)、金光幸秀、河内洋、桑井寿雄 (代理：田丸弓弦)、小嶋基寛、小林宏寿、小森康司、今野真己、齋藤彰一、齋藤裕輔、齋藤豊、坂本一博、島崎英幸 (欠席)、菅井有、関根茂樹、高松学、田中信治、冨樫一智、中井啓介、永田信二 (欠席)、中村好宏 (欠席)、藤盛孝博 (欠席)、福長洋介 (欠席)、堀田欣一、松下弘雄、松田健司、山田一隆、山田真善、山野泰穂 (欠席)、吉田直久 (欠席)、梶原由規 (事務局)
- オブザーバー 35 名

■会議内容

1. 研究 1 (Nomogram study)

(1) 進捗状況について

事務局より、主論文の一つである『Nomogram as a novel predictive tool for lymph node metastasis in T1 colorectal cancer treated with endoscopic resection: A nationwide, multicenter study』が *Gastrointestinal Endoscopy* 誌に accept されたことが報告された。以後、副次的研究の結果の公表を開始することがアナウンスされた。

(2) 副次的研究について

以下の 4 課題の副次的研究結果の概略が報告された。

- pT1 癌の再発形式と危険因子から見た追加外科 (国立がん研究センター中央病院 塚本俊輔先生)
- 内視鏡所見で得られる大きさ、肉眼型のリンパ節転移、再発の危険因子としての意義—腫瘍部位別の解析— (大腸肛門病センター高野病院 田中正文先生)
- High-risk pT1 大腸癌への追加外科切除の省略は患者の予後を悪化させたか? (愛知県がんセンター 大内晶先生)
- 有茎性 pT1 大腸癌に対する内視鏡切除適応拡大の可能性を探る検討 (東京医療センター 春日健吾先生)

⇒いずれも他の副次的研究と重複がなく、提示された内容で解析・報告を進め

ることが了承された。

2. 研究 2 (F1 study)

(1) 進捗状況について

事務局より新規病理因子（簇出、低分化胞巣、最低分化度）について、病理分科会で作成した病理アトラスに基づく判定による 2 回目の interobserver study を完了したことが報告された。

近日中に本邦 1000 例分のデジタルスライドデータの評価を開始することがアナウンスされた。

3. その他

富樫委員より、研究 1 における福島県立医科大学 会津医療センターの副次的研究『AI を用いた pT1 大腸癌の無再発生存率の検討』について、クラスタリングを用いた AI 機械学習での評価を加えることが報告され、異存なく了承された。